

インディアカ

平成14年7月吉日 発行



# さいたま

NO. 11

発行人 埼玉県インディアカ協会会長 秋谷昭治

## 平成14年度スタート

埼玉県インディアカ協会会長 秋谷昭治

平素より当協会運営につきまして、関係各位の大変なご尽力を頂き平成14年度が無事スタートすることが出来ました。心より感謝と敬意を表すものであります。

昨年はインディアカ協会創立20周年にあたり、数々の記念行事が織り込まれておりました。大事業を見事に完遂することが出来ましたのも、これ偏に理事長をはじめ関係役員諸氏の皆様のお陰と改めて御礼申し上げます。

本年度の方針としまして

- 1 県協会規約を改正し、組織の確立を計る。
- 2 全国レクリエーション埼玉大会、インディアカ競技大会、11月10日開催予定。
- 3 未普及地域の組織加入の促進を図り、5月26日行田市にて大会を開催し、インディアカの啓蒙と普及に努める。

以上3項目に重点を置き、目的達成に向け関係各位の皆様と共に一丸となり努力してまいります。

私事ではありますが、3月26日に第104代埼玉県議会議長に推挙され就任致しました。先般の県評議員会・懇親会の席にて、医療功労賞及び議長就任のお祝いを頂き誠にありがとうございました。700万県民の生活文化の向上の為、皆様の負託に答えられるよう一生懸命努力する所存でございます。

平成14年度もインディアカ協会並びに皆様と力を合わせて協会の一層の充実、発展に全力で傾注することをお誓いいたしまして、御挨拶と致します。



## ローカル・ルール採用

改定ルールが施行された事は、皆様ご存知の事と思いますが、会員の反対する声が強いと理事会で報告されました。

県協会としては、13年度の各大会毎にアンケートをお願いし、12月のランク別大会迄の分を集計し、平成14年2月24日の理事会に於いて下記の通り決定致しました。

### ◎ 検討ルール

- 1 ネットの高さ
- 2 センターラインの設置
- 3 後方競技者の攻撃の禁止（ブロックを含む）

### ◎ 決定

- 1 JIA 改訂ルール通り
- 2 JIA 改訂ルール通り
- 3 ローカル・ルールとして攻撃（ブロックを含む）しても良い。



- イ 埼玉県ローカル・ルールとして県協会及び4ブロック（東・西・南・北）の主催者及び主管する大会は14年4月1日より実施する。
- ロ 各市町村協会（連盟）の主催する大会に於いては特に規制しない。
- ハ 審判講習会・指導に於いては、オフィシャル・ルールにて行う。

## <関東甲信越ブロック大会>

従来はレクリエーションとして、個別自由申し込みでしたが、平成14年度より、チャンピオン・シップとして県別対抗となりました。

埼玉県に於いては、選考基準として前年度の中央大会の上位より派遣する事に理事会にて決定致しました。

以上のように報告致します。

埼玉県インディアカ協会  
理事長 宮田 紀栄

## ルール改訂の主な解釈

埼玉県インディアカ協会  
認定員 坂口 進

昨年4月1日より改定ルールが施行され、1年間の施行期間を経ていろいろな問題が出、今回ルールブックに無い部分についてJIAが明確に文章で発表致しました。(H14年3月9日研修会にて) その一部を簡単に書いてみたいと思います。詳しくは、地域の指導審判員より説明を受けてください。

### 昨年の解釈

### 新解釈

- |  |   |  |
|--|---|--|
| 1 競技者がポール部分を持って相手コート外に出ることは良い                    | → | ポール部分を支えとしてプレーは反則となる。  |
| 2 打球の回数は、ブロック後ネットに触れて落ちてきた場合と、触れないで落ちてきた場合と区別した。 | → | ブロックした羽根がネットに触れてきても、触れなくてもブロックをした人は、続けて1回は打てるが、その次連続しては打てない。 |
| 3 後列競技者のブロック禁止については、接触をもって成立する。                  | → | ネット近くで、相手側に羽根があった時に、ブロックの行為を試みた時。                            |
| 4 スパイク、ブロックの一連の動作の完了は、両足の着地とする。                  | → | 「足がコートに触れた瞬間とする」片足とし、ほとんど同時の場合は両足を見る。                        |

以上13項目ある解釈の内、4項目を簡単に書きました。昨年説明した事と違いますので、十分に理解をして競技、審判をお願いします。

### 新しい指導審判員紹介



富士見市 幸手市 所沢市 岩槻市  
小松原さん 巻島さん 金子さん 深田さん

## さくら草大会の裏話

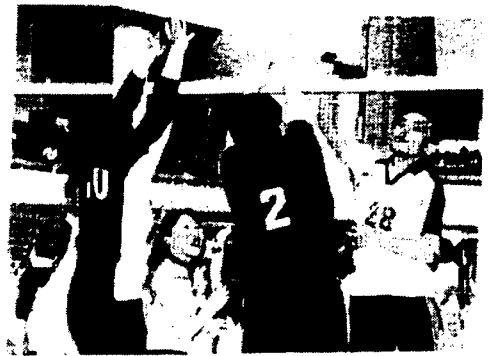
川越市連盟 伊藤 達郎



さくら草大会の開催が決まったのは平成12年の秋、川越レク協に申し込み、翌年2月の使用者調整会議で14年2月17日に決定。1月12日、用具等の点検を所沢の金子さんと職員で行う。大会一週間前に、当日借りる備品の件で体育館へ行くと、サブアリーナは他の団体が使用することになっていると言う。それからが大変だった。事務局に詰め寄り「プログラムも出来上がっている。

何としてもサブアリーナを空けてくれ。」と頼む。事務局も困り果て、「少し時間をくれ」とのこと。何とか他の団体を断り、使用可能と決まったのが大会4日前の13日。まったくヒヤヒヤの連続で大会を待つ。

大会当日、選手控え室が大会本部と決まっていたので準備を始めると、またまた他の団体がその部屋を使用すると言う。急遽会議室を使用することになったが、何ともてんやわんやの大会の裏方だった。そんな訳で、開催地の責任者でいながら開会式にも出られず、誠に申し訳ないと思っている。



### 第56回全国レクリエーション大会 INさいたま

種目別全国交流大会

インディアカ大会

(兼)第25回全国インディアカ大会

期 日：平成14年11月10日(日)

会 場：さいたま市大宮体育館

参加資格：日本インディアカ協会会員、  
レクリエーション協会

※ 埼玉県各ブロック・各市町地域の問題を下記までお寄せください。

秩父市 広報部長 北 美枝子 宛